

雲取山・石尾根

Hi

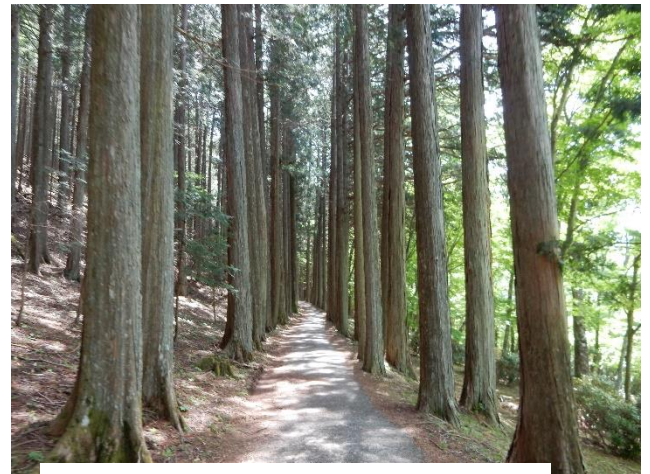
期 日：2018年5月16日（水）～17日（木） 晴れのち曇り  
 コース：西武秩父 9:10～三峰神社 10:30 / (参拜) 11:00 →霧凧ヶ峰 12:28 / (昼食) 51 →前白岩の肩 13:51/56 →白  
 岩山 13:05/15 →大ダワ 16:08/15 →雲取山荘 16:37 (泊) / (翌日) 5:45 →雲取山 6:23/45 →七ツ石山 8:0  
 8/16 →高丸山 9:15/20 →大クビレ 10:17/26 →鷹ノ巣山 10:54 / (昼食) 11:21 →六ツ石山 12:00/05 →  
 ミノ木戸分岐 14:45/50 →林道 15:08 →もえぎの湯 16:14 (入浴・軽食)

参加者：Hi、Ko、Su

三峰神社から雲取山に入り、石尾根を奥多摩駅まで歩いた。初日は標高差 900mの登り。林の中で展望は限られるが変化に  
 富む。翌日は標高差 1,700mの長い縦走と下り。開けた尾根歩きが多く眺望抜群。対照的なコースだった。



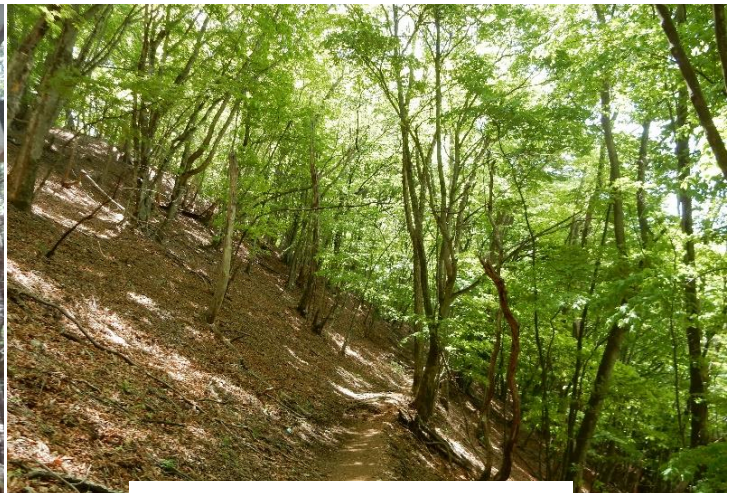
座れぬ人多数のバスを降り、まずは三峰神社に参拝



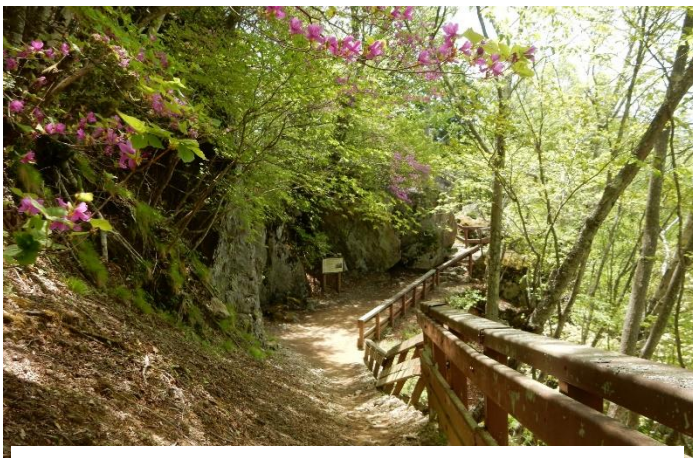
登山道入口に向う。既に標高 1,000m超



鳥居をくぐり植林帯の登山道に入る



ブナ林となり比較的緩やかな登り



500m登ると霧凧ヶ峰。命名者秩父宮のレリーフがある



隣の休息所で昼食を済ます



お清平からは本日最も厳しい前白岩の肩への急登



更に登るとコメツガ、シラビソの原生林となる



本日の最高地点、白岩山山頂（1,921m）  
シラビソ、ダケカンバの混交林に囲まれ展望はない



芋ノ木ドッケを巻き、原生林の中を大ダウに  
向け200m程下る



大ダウで最後の登りを前に一休み



雲取山荘に向け原生林の男坂を登り返す



坂を登り切り振り返ると白岩山と芋ノ木ドック



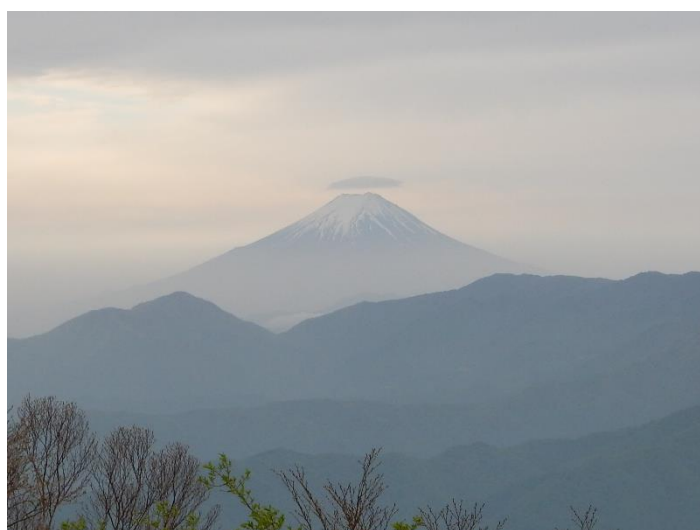
本日の歩行5時間半、お疲れ様でした。



翌早朝、山頂に向け原生林の急登を登る



最高地点、雲取山山頂 (2017m)  
曇りだが、高雲で視界はますます



富士山に笠雲



歩いて見たくなる飛龍山



山頂から見る石尾根の下り



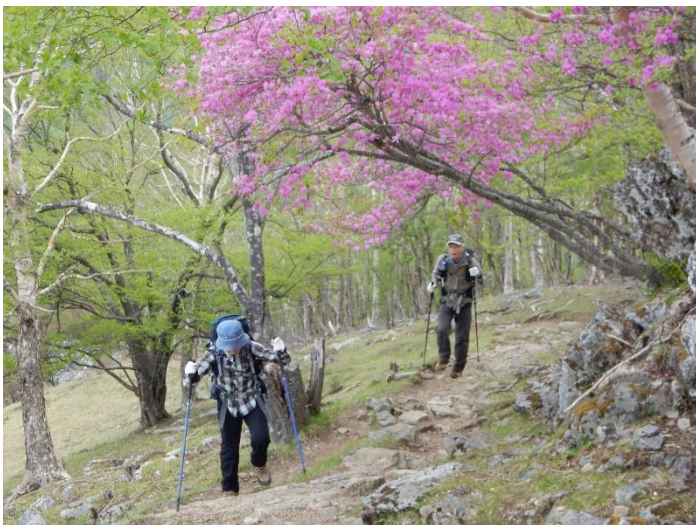
1,700mの下りを歩き始める



尾根道の先に七ツ石山  
カラマツの新緑が美しい



奥多摩小屋は来年3月閉鎖という



ブナ坂から七ツ石山山頂に向け登り返す



七ツ石山山頂



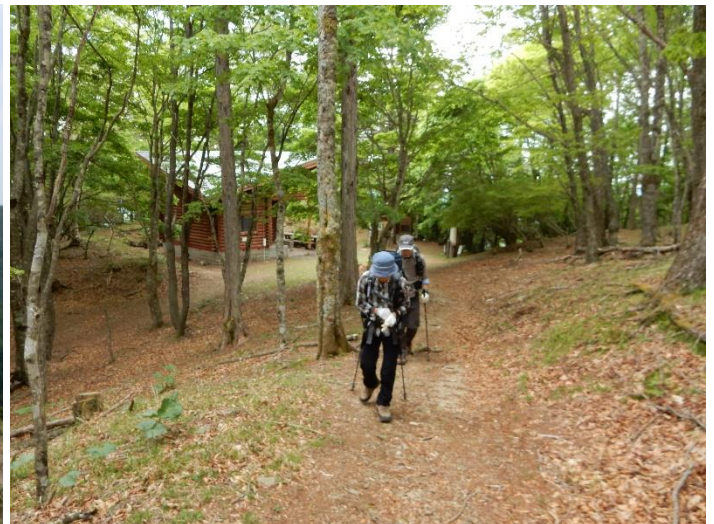
千本ツツジのヤマツツジは未だ蕾



鷹ノ巣山へは巻道を探らず尾根道を歩き通し、高丸山、日蔭名栗山の山頂も経由した



前方に鷹ノ巣山。セツ石山から鷹ノ巣山までの4座は標高1,750m前後で殆んど変わらない



避難小屋のある大クビシから鷹ノ巣山山頂へ向う



鷹ノ巣山は幕府に鷹狩用鷹を献上する山域だったという



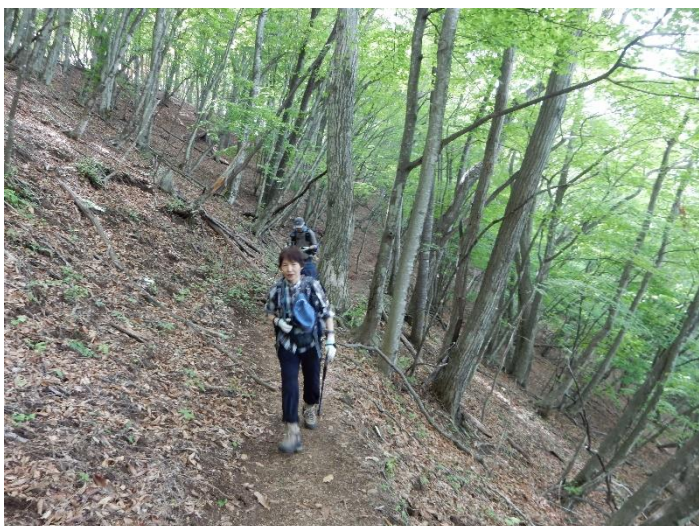
御前山、大岳山など奥多摩の山々を眺望できる



新緑が美しい樹林帯を行く



六ツ石山で縦走は終わる。ここまで約550m下りた。あとは、1,150m程の下山だ。



樹林帯をひたすら下りる



植林帯に入ってひたすら下りる



林道に抜け出てひたすら歩く  
10時間歩いて奥多摩の街にくたくた、お疲れ様でした



もえぎの湯（写真借用）に足を伸ばし、温泉入浴  
2日間無事歩き通せたことを生ビールで乾杯  
3人とも本日の歩数が大幅な記録更新だったこと確認